



八月冒真聲君、二百郎

二會中、吉井元老院より真声

と曰、今日政府、於て華士族

家禄を廢止し、禄券を施行す

と決議あり、伊知知、抑曰、此事

朝廷、大英斷言、維新以後、一

大政事、天下人、智愚を分

時あり、士皆あり、勉強せざる人

歟あり

予、於是確然、自立、我若海

舊里に於て、新の佳勝、地と

卜し、西園、模範、做の一箇

製、繅場を設立せんとす、但馬

園、官立の係、予の舊藩、同士の

力を合し、私立せんとす、蓋、予

用、費を省、て、永世に、國益を

興、す、あり、抑、米澤藩、深、く、戊辰、

非、を、悔、爲、す、上、於、公、奮、然、郡、縣

に、制、を、立、門、閥、を、廢、士、族、に、家、禄

を、減、削、し、七、禄、券、を、附、与、し、朝廷

今日、此、施設、の、先、に、其、實、績、を、奉、



時より士族の勉強せざる人
歟あり

予於是確然自立我未得
舊里に於て新の佳勝の地と

トし而して模範の倣ひ一箇
製綿場を設立せんとす但馬

國の官立の係事の舊藩同士の

力を合一し私立せんとす蓋し

用之費を省めて永世に國益を

興せしめ抑米澤藩に於て戊辰の

非を悔藩王に於て公奮然郡縣

の制を立門閥を廢士族の家祿

を減削して禄券を附与し朝廷

今日に於て施政の先其実績と奉

六年前の事未だ及ばず今又

絲の器械を始め綿産盤植の基

本を立て六士族凍餒の憂を免

ぬきし此亦嶺山公積年の苦心

勲を以てし

伊知地吉井 拍子 楚成 廿一日

